

# 令和4年度 農作物病虫害発生予察10月月報

令和4年(2022年)11月1日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
10.1	23.1	20.3	2.8	28.8	25.9	2.9	18.4	15.9	2.5
10.2	17.8	19.4	△ 1.6	21.7	25.2	△ 3.5	14.8	14.8	0.0
10.3	17.6	18.4	△ 0.8	25.3	24.4	0.9	11.9	13.6	△ 1.7
10.4	17.4	17.3	0.1	23.4	23.5	△ 0.1	11.9	12.4	△ 0.5
10.5	16.6	16.2	0.4	23.2	22.4	0.8	11.8	11.3	0.5
10.6	14.5	15.1	△ 0.6	22.0	21.2	0.8	8.4	10.1	△ 1.7
平均・計	17.8	17.8	0.1	24.1	23.8	0.3	12.9	13.0	△ 0.2
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
10.1	14.5	22.1	△ 7.6	41.2	25.3	15.9			
10.2	23.0	16.2	6.8	15.8	26.1	△ 10.3			
10.3	0.0	14.0	△ 14.0	36.7	27.6	9.1			
10.4	0.0	15.2	△ 15.2	28.7	28.5	0.2			
10.5	5.0	15.1	△ 10.1	34.8	28.2	6.6			
10.6	0.0	15.6	△ 15.6	50.7	33.0	17.7			
平均・計	42.5	98.2	△ 55.7	207.9	168.7	39.2			

## II 作物の生育状況

- (1)カンキツ : 果実肥大は、裏年傾向の影響もあり、概ね平年並みからやや大きく推移している。着色は、9月の高温を受け、極早生・早生ではやや遅れがみられた。果実の糖度はやや低く、酸は平年並み。せとみの裏年傾向が強い産地では、夏秋梢の多発がみられる。
- (2)キャベツ : 定植後の台風の影響で一部では冠水等の影響があったが、それ以外は生育も順調に推移しており、一部では出荷開始が例年に比べ早まる見込みである。
- (3)イチゴ : 主力品種の「かおり野」は、定植後の生育も順調で、多くは1番花が10月中旬頃に開花し始め、本格的な出荷開始は11月下旬からの見込みである。また、多くのところで2番花の分化も順調に進んでおり、連続した出荷が期待できる。

### Ⅲ 病害虫の発生状況

#### 1 果樹

2022年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ (調査ほ場数:19) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率88.9% (平年96.4%)、発病果率17.6%(平年 52.6%)、発病度4.3(平年14.7)で平年に 比べやや少なかった。	県内全域	少 908
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年10.9%)、発病果率0.8%(平年 0.8%)、発病度0.5(平年0.3)で平年並み であった。	県内全域	少 113
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年22.3%)、寄生葉率0%(平年3.1%)で 平年に比べ少なかった。	—	—
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.6% (平年1.5%)、被害果率0.1%(平年 0.2%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 57
ナシマルカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率61.1% (平年21.2%)、寄生果率3.4%(平年 0.8%)で平年に比べ多かった。	県内全域	中 227 少 397 計 624
チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年7.1%)、被害果率0%(平年0.2%)で平 年に比べやや少なかった。	—	—
ヤノネカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.5%)で平年並みであった。	—	—
イセリアカイガ ラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年1.6%)で平年に比べやや多かっ た。	県内全域	少 57
ミカンバエ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年2.0%)で平年並みであった。	—	—
果樹全般 カメムシ類(チャ バネアオカメム シ、ツヤアオカメ ムシ、クサギカメ ムシ)	9月21日～10月20日の予察灯(県内5か所) の誘殺数は106頭(平年248頭)で平年並み であった。優占種はツヤアオカメムシで あった。	県内全域	—

#### 2 野菜

キャベツ (調査ほ場数:中旬12、 下旬12) 黒腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.9%)、発病株率0%(平年0.0%)、発 病度0(平年0.0)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—
--------------------------------------	---	---	---

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
キャベツ べと病	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.8%)、発病株率0% (平年 0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並 みであった。	—	—	
萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—	
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% (平年51.6%)、寄生株率3.3% (平年 4.2%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% (平年43.3%)、寄生株率5.5% (平年 2.6%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚	14
			少	57
			計	71
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% (平年22.3%)、10株当たり虫数0.4頭 (平年0.1頭) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年20.8%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。	県内全域	少	71
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年27.2%)、寄生株率0.5% (平年 1.1%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年26.7%)、寄生株率0.8% (平年 1.0%) で平年並みであった。	県内全域	中	14
			少	14
			計	28
ハイマダラノメイ ガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年0%)、寄生株率0.2% (平年 0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	14
ウワバ類	中旬の巡回調査では発生ほ場率8.3% (平年18.5%)、寄生株率0.3% (平年 1.1%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年17.5%)、寄生株率1.2% (平年 0.6%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	14
			少	43
			計	57
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年14.6%)、10株当たり虫数0頭 (平年 0.1頭) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年7.5%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。	県内全域	少	14

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
キャベツ ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平 年 5.1%）、寄生株率0%（平年0.3%） で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% （平年3.3%）、寄生株率0.2%（平年 0.1%）で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 14
シロイチモジヨト ウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% （平年9.4%）、寄生株率0.2%（平年 0.4%）で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平 年5.8%）、寄生株率0%（平年0.2%）で平 年並みであった。	県内全域	少 14
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% （平年30.3%）、寄生株率1.0%（平年 2.4%）で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% （平年30.0%）、寄生株率1.8%（平年 2.2%）で平年並みであった。 主要種はニセダイコンアブラムシであつ た。	県内全域	少 85
ダイコンハムシ	下旬の巡回調査において、山口市と下関 市の各1ほ場で発生が確認された。	県内全域	少 28
イチゴ (調査ほ場数:20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% （平年22.0%）、発病株率5.9%（平年 5.4%）、発病葉率3.7%（平年2.6%）で平 年並みであった。 一部ほ場で多発生が見られた。	県内全域	甚 5 少 10 計 15
炭そ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% （平年1.5%）、発病株率0.1%（平年 0.0%）で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 5
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% （平年6.0%）、発病株率0.7%（平年 0.4%）で平年並みであった。	県内全域	少 10
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% （平年27.0%）、寄生株率1.0%（平年 4.5%）で平年に比べ少なかった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少 15
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平 年12.9%）、寄生株率0%（平年0.5%）で平 年に比べ少なかった。	—	—
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% （平年2.5%）、寄生株率0.5%（平年 0.1%）で平年に比べ多かった。	県内全域	少 15

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
イチゴ シロイチモジヨ トウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.0%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—																		
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年25.0%)、寄生株率0.2% (平年7.4%) で平年に比べ少なかった。主要種はナミハダニであった。	県内全域	少 5																		
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年15.9%)、寄生株率0.4% (平年1.9%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 5																		
アザミウマ類 (調査ほ場数：9)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年10.1%)、寄生花率0.2% (平年0.5%) で平年並みであった。	県内全域	少 5																		
野菜、花き類 アブラムシ類	10月の黄色水盤トラップ (山口市大内) による誘殺数は102頭 (平年114頭) で平年並みであった。	県内全域	—																		
ハスモンヨトウ	10月のフェロモントラップ (山口市大内) による誘殺数は1148頭 (平年2,068頭) で平年に比べやや少なかった。県内他地点の9月21日～10月20日の誘殺数は下記のとおり。 <b>フェロモントラップでの誘殺数(頭)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>796</td> <td>523</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>101</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>791</td> <td>377</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,041</td> <td>1,587</td> </tr> <tr> <td>参考：周南市熊毛</td> <td>27</td> <td>15 ※</td> </tr> </tbody> </table> ※周南市の平年欄は前年の誘殺数を記載	地点	本年	平年	山口市阿東	796	523	萩市明木	101	152	下関市清末	791	377	柳井市伊陸	1,041	1,587	参考：周南市熊毛	27	15 ※	県内全域	—
地点	本年	平年																			
山口市阿東	796	523																			
萩市明木	101	152																			
下関市清末	791	377																			
柳井市伊陸	1,041	1,587																			
参考：周南市熊毛	27	15 ※																			
オオタバコガ	10月のフェロモントラップ (山口市大内) による誘殺数は22頭 (平年123頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—																		
シロイチモジヨトウ	10月のフェロモントラップ (山口市大内) による誘殺数は8頭 (平年17.3頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—																		
コナガ	10月のフェロモントラップ (山口市大内) による誘殺数は33頭 (平年41.0頭) で平年並みであった。	県内全域	—																		

お問い合わせ先 山口県病害虫防除所  
TEL (083) 927-4006  
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp